

基本計画で指摘された課題の整理結果

国際比較が十分に行えないとの点について

OECD基準表を用いれば、OECD加盟国間における国際比較が可能。

SNA（国民経済計算）との整合性向上が必要との点について

国民経済計算では社会保障を狭く定義（厚生年金基金等が含まれない。）している一方、社会保障費用統計（旧「社会保障給付費」）では広く定義しているため、数値に差は生じる。

しかしながら、社会保障費用統計で社会保障を広く定義しているのは、社会保障に係る全般的な支出等を明らかにすることを目的としているからである。社会保障費用統計の定義を国民経済計算の定義に合わせた場合には、社会保障に係る全般的な支出等が把握できないという支障が生じることから、社会保障費用統計の定義や範囲を変更し、国民経済計算に合わせることは不適當。

なお、社会保障費用統計では内訳も明示されていることから、国民経済計算の数値との比較分析は可能。

ESSPROSとの整合性向上が必要との点について

ESSPROSは、EU加盟国間の社会保障政策の国際比較のために整備されている統計（統計基準）であり、EUROSTATが取りまとめを行っている。

ESSPROSを作成しているのは、EU加盟国のみ。我が国がESSPROSに沿った統計を作成した場合、国際比較可能なのはEU加盟国に限られる。

また、ESSPROSの作成マニュアルはあるものの、実際の作成にはEUROSTATからの具体的な支援が必要であり、現実問題として、EUに加盟していない我が国は、EUROSTATからの支援を受けられない状況にあることから、ESSPROSに沿った統計の作成は困難と考えられる。

SOCXとの整合性向上が必要との点について

SOCXとはOECD基準に基づく社会支出統計であり、我が国のOECD基準表はOECD基準に基づき作成されているため、整合性は取れている。

SHAとの整合性向上が必要との点について

SHAは、OECDが整備している保健医療支出に関する統計である。OECD基準表における「保健」分野は、SHAのデータを計上することとされているため、OECD基準表とSHAとの整合性は取れていると考えられる。